

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣 良次

2015. 11  
No.267

### 一人三役

今年のテーマは『育』です。これは永遠のテーマかもしれません。イナテックの将来を考えると、もともと社員の方々の基礎教育を続ける必要があります。仕組みを構築せねばならないと考えております。

イナテックが考える基礎教育とは、一般社員の方々に対しては、

- 一、イナテック企業理念
  - 二、加工技術
  - 三、測定技術
- 管理者に対しては、前述を含め、
- 一、企業理念をふまえたリーダーシップ教育
  - 二、財務管理教育

が必要だと思っております。

また、教える人について言えば、“育成のプロ”を育てる必要があります。その一案として、

“一人三役”をまず管理者の人やスタッフの方々に担っていただき、二〇一六年度中に育成のプロ、すなわちそれぞれの必要な教育に応じたトレーナーを誕生させます。

そして、社員の方々には入社時の導入教育のみではなく、繰り返し基礎教育を行わせていただき、ベースの強いイナテックにしたいと考えております。そのことがTPM優秀賞ワールドクラス挑戦へのロードマップの基礎となると信じております。

### 安全第一

一〇月、米津工場でチップコンベアーに左腕を巻き込まれるという労災がありました。

不幸中の幸いと申しましょうか、そのオペレーターの方は擦り傷程度ですみましたが、一瞬間違えば左腕が巻き込まれたまま死亡につながる事故です。

心の動揺やいろいろな事が重なり、不安全行動を起こしてしまったわけですが、TPMゼロス

テップの基本に戻り、『機械清掃や機械に手を入れる時には、必ず自動運転停止を行う』という行動を再度学んでください。

このことは製造の方々のみでなく、間接の方々も含め五〇〇名の社員全員学び直してください。そして「これで良いのか？」と現場を見て議論をしてください。

社員の方々の安全があつてはじめて企業が成り立つわけです。

“ご安全に！”

「たけ」

表現画房 たけ

この方とは二〇一二年に名古屋高島屋で出会いました。我々が五体満足でいられることの幸せを思い起こさせてくださった方でした。この方のメッセージと詩を紹介させていただきます。

二〇〇一年一〇月、突然脳梗塞で倒れ、四十八時間後に救出されるものの、失語症と言

語障害、聴覚障害、右手障害という重い後遺症を残す。

「もう死んだ方がましだ」という深い絶望感の中、残った左手を使つて絵と詩を表現し始める。

言葉全般に障害を持った私は発病の時は、

これからどう生きていけばいいのだろうか不安でいっぱいでした。しかし今、下手な絵と文字を表現し生活をしています。この不自由さが私に言葉の美しさと重さを教えてくれた。

そう考えてみれば、一生を通して何が幸いかわかりません。意味のない出来事は一つもないと思います。

「神様 試練をありがとうございます」

たけ

気づいてほしい

あなたの幸せは

目が見えること 耳が聞けること

話をできること 手が動くこと

足で歩けること 呼吸ができること

心臓が動くこと 自分でうんこもできること

事故も起きず大きな病気もせず

何事も特別なことが起きず

なんでもないことがとても幸せなこと

今の幸せを数えたらきつと数えきれない

幸せとは手に入れるものでなく

望むものでなく

気づくもの

三〇

たけ

貪得者、分金恨不得玉、封公怨不受侯、權豪自甘乞丐。知足者、藜藿旨於膏粱、布袍煖於狐貉、編民不讓王公。

得るを貪る者は、金を分つも玉を得ざるを恨み、公に封ぜらるるも侯を受けざるを恨みて、權豪も自から乞丐に甘んず。足るを知る者は、藜藿も膏粱より旨しとし、布袍も狐貉より煖かなりとして、編民も王公に譲らず。

一 公——公爵。爵位だけで領土を持たない。二 侯——諸侯。領土を与えられる諸侯の意。三 權豪——權門豪家。四 乞丐——乞人。こじき。五 藜藿——あかさのあつもの。粗食をいう。六 膏粱——肥えた肉と、よい米。美食をいう。七 布袍——布製のどてら。「袍」は、すその長い綿入れの上衣。粗衣をいう。八 狐貉——きつねや貉の皮ごころも。美衣をいう。論語に「敝れたる細袍を衣て、狐貉を衣たる者と立ちて、而も恥じざる者は、夫れ由なるか」(子罕)とある。九 編民——庶民。戸籍に編入されている民の意。

(人間の欲望には限りがない)、物を得たいと欲はる者は、金を分けてもらっても、その上の玉をもらえなかったことを恨み、公爵の爵位を与えられても、その上の領土を持つ諸侯にしてくれなかったことを恨む。このようにして權門豪家でありながら、我からこじき同然の心ねに甘んじている。(これに反して)、ほどほどで満足することを知る者は、あかさのあつものでも、よい肉や米よりもごちそうであると思ひ、布で作ったどてらを着ても、高価な皮ごころよりも暖かいと思う。このようにして貧しい庶民でありながら、心ねは王侯貴族よりも満ち足りている。

今一度、五体満足で生きていることの幸せに

感謝せねばと思つております。

今の苦勞、苦しみなんか、何とでもなる。

良次

